

## 指定管理者評価シート

事業名	札幌芸術の森等運営管理費	所管課(電話番号)	市民文化局文化部文化振興課(211-2261)
-----	--------------	-----------	-------------------------

## I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌芸術の森 本郷新記念札幌彫刻美術館	所在地	【札幌芸術の森】 南区芸術の森2丁目 【札幌彫刻美術館】 中央区宮の森4条12丁目
開設時期	【札幌芸術の森】 昭和61年7月 【札幌彫刻美術館】 昭和56年6月	延床面積	【札幌芸術の森】 389,653.82㎡(敷地面積) 【札幌彫刻美術館】 本館374.10㎡、記念館 437.07㎡
目的	【札幌芸術の森】 芸術文化都市さっぽろのシンボルとして、個性ある新しい札幌文化を育てることを目指し、「制作・研修機能」、「情報・交流機能」、「鑑賞・発表機能」を持つ新しい芸術文化の場を創出し、札幌が誇りとする豊かな大自然と、都市、芸術、文化が調和した環境の形成を目的とする。 【札幌彫刻美術館】 本市ゆかりの彫刻家である本郷新の業績を顕彰するとともに、本市における彫刻を中心とした美術の振興を図り、市民の文化芸術活動の発展に寄与することを目的とする。		
事業概要	【札幌芸術の森】 札幌芸術の森園内各施設の管理運営、札幌芸術の森園内各施設を活用した各種芸術文化振興のための主催事業の実施。 【札幌彫刻美術館】 美術に関する展覧会及び美術振興のための主催事業の実施並びに施設の管理運営。		
主要施設	【札幌芸術の森】 芸術の森センター、札幌芸術の森野外美術館、佐藤忠良記念子どもアトリエ、札幌芸術の森美術館、アートホール、工芸館、各種工房、各種アトリエ、有島武郎旧邸、野外ステージ等 【札幌彫刻美術館】 本館：ギャラリー、展示室1～5、研修室、屋外展示スペース 記念館：展示室1～4、ロビー		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人札幌市芸術文化財団		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：札幌芸術の森は札幌市における文化芸術振興の中核となる施設の1つであり、指定管理者には施設の特性を活かした多様な事業を継続して実施するための専門的知識や経験、幅広いネットワークが必要であるとともに、管理運営に当たっては、長期的な視野に立った継続的な事業運営や人材育成、ノウハウの蓄積などが特に必要となるほか、施設における事業内容の企画立案等を本市と指定管理者とが一体となって行う必要があることなどから、非公募とした。 彫刻美術館は、(財)札幌彫刻美術館と(財)札幌市芸術文化財団との統合の経緯から、芸術の森との一体的管理が必要であり、団体と施設の関係が密接不可分にあること、また、施設における事業内容の企画立案等を本市と指定管理者とが一体となって行う必要があることなどから、非公募とした。		
指定単位	施設数：2施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：施設の設置目的が類似し、事業領域が関連している札幌芸術の森と札幌彫刻美術館を一体的に管理していくことにより、管理面での経費節減効果が期待できるとともに、両施設の連携を更に深め、より魅力的な事業や、美術の普及振興を図ることが可能であることから、札幌芸術の森と彫刻美術館を一括し管理している。		
業務の範囲	施設維持管理業務、貸館業務(利用料金制度)、施設における事業の計画及び実施に関する業務		
3 評価単位			
	施設数：2施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：2施設を一体的に管理しており、指定管理費についても両施設で一体となっていることから、一括評価としている。		

## II 平成29年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>【札幌芸術の森】 札幌芸術の森は、文化芸術都市さっぽろのシンボルとして、個性ある新しい札幌文化を育てることを目指し、もって札幌が誇りとする豊かな大自然と都市、芸術、文化が調和した環境を形成するため、次の4つの基本方針を策定している。 ①芸術文化拠点として機能強化による市民サービスの向上 ②豊かな自然環境を活用した事業展開 ③そこに住むひとびとのための施設づくり ④効率的な運営による経費縮減と環境負荷の軽減</p> <p>【本郷新記念札幌彫刻美術館】 札幌出身の彫刻家・本郷新の業績を顕彰するとともに、若手彫刻家の育成を願った本郷新の意思を引き継ぎ発表の場を提供するために、次の6つの基本方針を策定している。 ①札幌の彫刻芸術・文化を広く発信するとともに、その創造的精神を次世代に継承・発展させる。 ②作家ゆかりの地域特性を生かし、市民と地域住民から愛される施設運営を行う。 ③当財団の他の芸術分野セクション等と連携し、魅力ある事業の展開に努め、施設全体の集客力を高める。 ④来館者及び利用者が最適な環境で芸術鑑賞や作品発表を行えるよう、適正で安全、かつ効率的な施設運営に努める。 ⑤透明性のある施設運営のため、運営協議会を設置し、施設運営上の問題点や改善に関する事項について協議を行い、適正な施設運営を目指す。また、モニタリングにより、利用者の満足度や意見・要望の把握に努め、利用者の声を反映した運営を行う。 ⑥経費を節減しつつ、施設の維持と利用者サービスの向上に取り組む。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>【札幌芸術の森】 利用受付は、利用者間の公平を図る観点から、受付開始日、締切日及び開始・終了時刻を定めているほか、受付は先着順とし、全ての利用者に対して公平な受付業務を行った。 受付の流れ、関連規則、施設の空き状況についても、利用者の要望に応じながら、分かりやすく十分に説明をするよう心がけた。</p> <p>【本郷新記念札幌彫刻美術館】 平等利用を確保するために、その方針及び取組項目を検討するとともに、留意事項等について職員相互に基本的な考え方や心構えを確認した。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>【札幌芸術の森】 「札幌市生活環境の確保に関する条例」に基づく環境保全行動計画に従い、二酸化炭素排出の抑制に取り組んだ。</p>	<p>札幌芸術の森の設置目的を実現するための基本方針とすることができた。</p> <p>本郷新記念札幌彫刻美術館の設置目的を実現するための基本方針とすることができた。</p> <p>関連規則に従い、利用者への公平性を保ちながら受付業務を行うことができた。</p> <p>関連規則に従い、利用者への公平性を保ちながら受付業務を行うことができた。</p> <p>省エネについては人工滝揚水ポンプの週末限定運転や照明設備の間</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>両施設とも、運営協議会や来館者アンケートによる意見を踏まえた業務改善や事業展開を図っており、サービスの向上に努めている。また、前年度比で、消費エネルギーが増加したものの、様々な節電等対策を行い、環境に配慮した取組を行っており、本市の要求水準を満たす適切な管理が行われている。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

## ▼ 冷暖房について

昨年度に引き続き、昼休み時間や終業時刻以降の冷暖房運転をカットし、設定温度を夏季28℃、冬季20℃で運転するなど、燃料の節約に努めた。

## ▼ 節電について

・昨年度より実施しているセンター事務所の照度50%設定やセンター、アートホールロビー等の照明設備間引き点灯を継続して実施した。事務所については休憩時間や不在時の消灯を徹底する等、更なる節電に努めた。  
 ・芸術の森センター2階テラスで前年に続きグリーンカーテン事業に取り組み、遮熱効果をあげた。環境負荷軽減活動を通じて寛ぎの空間の提供に努めた。  
 ・従来より実施している、野外美術館シンボル彫刻の前の人口滝揚水ポンプの週末限定運転を引き続き実施するなど、消費電力の削減を図った。  
 ・電力需要がひっ迫する野外ステージの大型イベントの開催時に自家発電を用意し、電力デマンドのピークカットに努めた。

## 【本郷新記念札幌彫刻美術館】

「札幌市生活環境の確保に関する条例」に基づき、不要な電気の使用を抑えるとともに、水、灯油、ガス等の節約に努め、二酸化炭素排出量の低減を図った。

## ▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

## 【札幌芸術の森】

▼ 管理業務の一層の効率的運用、中長期での組織運営のあり方などについて検討し、必要に応じた適切な採用・適正部署への配置を行った。

▼ 統括責任者として芸術の森事業部長を、職務代理者として芸術の森事業部管理課長を配置している。

▼ 芸術の森美術館に、学芸員の資格を有する職員5人を配置している。

▼ 各職員の習熟度に応じた計画的な研修を行い、スキルアップに努めた。

・4月 新規採用職員研修① 個人情報保護・セクシャルハラスメント防止研修

・4月 新規採用職員研修② 接遇研修(ビジネスマナー)

・8月 音楽がヒラク未来

・11月 パソコン研修

・12月 テロ対策講和、実技研修

・1月 年金とナイスライフセミナー

・1月 新任係長職研修

・2月 管理職マネジメント研修

・2・3月 コンプライアンス研修

引き点灯、冷暖房の一部カットなどの対策を行い、特に電力は、日頃から使用量の管理に努めた。

電気使用量は前年度比で約7%増加したが、冬期は、厳しく取り組んだ屋内照明及び空調機関連の節電対策が効果を上げた。

また、冷暖房の運転に使用する重油や、灯油についても、前年度比で2.8%の増加となったが、各機器の運転を細かく制御したことにより増加幅を抑えることができた。

暖房器具・照明等の使用を抑え、節電に努めることができた。

配置計画に関しては、職員との面談等を通じ適性を考慮しながら業務量に見合った適切な職員配置を行った。

業務の効率化に加え、職員の業務に対する意識向上の動機づけを図ることができた。

また、札幌彫刻美術館と合同で研修を開催し、職員の積極的な参加を促すことで、職員の資質向上に努めるとともに、業務に対する意識を高めることができた。

また、前年度に引き続き、全職員必須研修として、コンプライアンス研修を行うなど、服務規律の確保について職員の意識向上に努めた。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 統括責任者として彫刻美術館課長を、職務代理者として彫刻美術館業務係長を配置しているほか、業務分担、連絡系統等を定めた。

▼ 本郷新記念札幌彫刻美術館に、学芸員の資格を有する職員2人を配置している。

▼ 前年度に引き続き受付業務のために、4人のパート職員の採用を行い、フレキシブルに対応できる体制を整えた。

▼ 札幌芸術の森との合同で職員研修を行うほか、館独自で各展覧会ごとにパート職員を含めた研修を実施した。

▼ 運営方針や業務内容については、美術館内の会議を通して職員間での共通理解を図った。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

【札幌芸術の森】

▼ 財団内LANによるグループウェアソフトを活用し、事業部内及び財団全体の職員間の情報共有を行った。

▼ 園内に点在する施設間においても、来園者と接する機会の多い常駐委託業者(受付、警備、施設設備管理、清掃)と職員間で、上記グループウェアソフトや内線、携帯電話による連絡網もあわせて活用した。

▼ 安定した管理体制と来園者へのサービス向上を目指し、職員と常駐委託業者が事故や問題点、今後の予定などお客様対応に必要な情報共有や意見交換を行うための会議を毎週、実施した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 財団内LANによるグループウェアソフトを活用し、美術館内及び財団全体での情報共有を行った。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

【札幌芸術の森】

▼ 計画書、仕様書に基づき、清掃等の業務を専門業者へ再委託し、適正な業務遂行を実施した。

▼ 第三者に対する委託に関して、入札等による適切な契約を行うことにより、経費節減と業務内容の充実と向上に努めた。なお、一部の経費節減等が期待できる業務については、複数年契約を締結している。

▼ 受託者の業務については立会を行うとともに作業完了報告書の確認と業務内容の検査を実施し、適正な業務を遂行させることができた。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 計画書、仕様書に基づき、庭園管理等の業務を専門業者へ再委託し、適正な業務遂行を実施した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

美術館内の会議を適切に実施し、事業内容や各担当業務に関する情報の共有を図った。パート職員を適宜配置することで、来館者数の多寡が日により大きな差があることに対応した。

事業部間や事業部内での情報共有をスムーズに行うことで、来園者へのよりきめ細かな対応を行うことができた。

事業部間や事業部内での情報共有をスムーズに行うことで、来館者へのよりきめ細かな対応を行うことができた。

規程類に基づき、適切な契約を行った。

規程類に基づき、適切な契約を行った。

【札幌芸術の森】

▼ 札幌芸術の森施設運営協議会の開催

開催回	協議・報告内容
第1回 6月15日	・平成29年度管理運営業務の経過報告について(施設利用状況・主催事業) ・平成29年度運営協議会の方針について ・グループディスカッション(過去の振り返り、平成29年度の方針について、アトリエ・ロジの活用について)
第2回 10月3日	・平成29年度管理運営業務の経過報告について(施設利用状況・主催事業) ・第4期指定管理の管理運営にかかる基本方針について
第3回 12月20日	・平成29年度管理運営業務の経過報告について(施設利用状況・主催事業) ・グループディスカッション(団体向け工芸講習会の活性化について)
第4回 3月8日	・平成29年度管理運営業務の経過報告について(施設利用状況・主催事業) ・グループディスカッション(札幌芸術の森全体のイベント・取り組みについて)
<p>&lt;協議会メンバー&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域：芸術の森地区まちづくりセンター所長</li> <li>・利用者：施設利用者</li> <li>・有識者：放送局部長、新聞社部長、旅行会社担当課長、デザイナー、札幌市立大学教授、広告代理店役員</li> <li>・ボランティア団体：野外美術館解説ボランティア</li> <li>・札幌市：市民文化局文化部長</li> <li>・指定管理者：芸術の森事業部長</li> </ul>	

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 本郷新記念札幌彫刻美術館施設運営協議会の開催

開催回	協議・報告内容
第1回 6月2日	・平成29年度運営方針 ・平成29年度事業計画 ・意見交換
第2回 9月1日	・平成29年度第1回理事会報告 ・平成29年度事業中間報告 ・平成29年度入館者アンケート集計結果中間報告 ・意見交換
第3回 12月8日	・平成29年度事業中間報告 ・平成30年度事業の企画状況 ・意見交換
第4回 3月2日	・平成29年度事業経過報告 ・平成30年度事業予定について ・意見交換
<p>&lt;協議会メンバー&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域：宮の森まちづくりセンター所長</li> <li>・利用者団体：札幌市立大倉山小学校PTA副会長</li> <li>・地元自治会：宮の森明和会会長</li> <li>・学識経験者：札幌市立三角山小学校長</li> <li>・アドバイザー：彫刻家</li> <li>・札幌市：市民文化局文化部長文化振興課長</li> <li>・指定管理者：彫刻美術館館長(芸術の森事業部彫刻美術館課長)</li> </ul>	

当施設の運営について、主催事業や貸施設、広報等の多岐にわたり、様々な分野の方々からご意見をいただいた。平成29年度は、前年度にグループディスカッションで出されたアイデア・アクションプランを踏まえ、当施設の利用促進に向けた具体的な議題を設定し、対話型のグループディスカッションを開催し、活発な意見交換を行うことができた。また、提示されたアイデアの中から、チラシデザインの改訂やSNS (instagram) の導入等、実現可能なものから着手し、来園者ニーズの把握に努めた。

当施設の運営について、多岐にわたり様々なご意見をいただいた。意見交換を活発に行い、地域利用者、専門家の意見、評価を直接聞くことができた。いただいた意見を広報、事業企画に積極的に活かした。

<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>【札幌芸術の森】</p> <p>【本郷新記念札幌彫刻美術館】</p> <p>▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施しており、公認会計士による外部会計監査を導入している。また、内部監査やセルフモニタリングにより、当財団管理施設をまたいだ相互的なチェック体制を導入している。</p> <p>▼ 現金等の取扱いについては、現金取扱要綱を整備しており、出納員及び分任出納員による一元管理を行っている。また、複数職員でのチェックを行うことで、事故防止に努めた。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>【札幌芸術の森】</p> <p>▼ お客様からの要望・苦情については、速やかに担当課及び関連部署の職員間で、文書や財団内LANIによるグループウェアソフト等で情報共有を図り、対応確認を行った。指摘事項に関しては、担当者間で協議し、利用者の利便性を優先した迅速な対応に努めた。</p> <p>▼ 札幌芸術の森ホームページから送信されるお問い合わせについても、関係部署で情報共有を図り、回答した。</p> <p>【本郷新記念札幌彫刻美術館】</p> <p>▼ 要望・苦情のあった際は職員間で情報を共有し、迅速に検討・対応した。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>【札幌芸術の森】</p> <p>【本郷新記念札幌彫刻美術館】</p> <p>▼ 指定管理業務に関する下記の記録・帳簿等については適切に整備保管した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理業務に関する諸規程</li> <li>・文書管理簿</li> <li>・各年度の事業計画及び事業報告書</li> <li>・収支予算・決算に関する書類</li> <li>・金銭出納に関する帳簿</li> <li>・物品の受払いに関する帳簿</li> <li>・各種業務に関する記録書類及び札幌市が必要と認める書類</li> </ul>	<p>資金管理、現金等の取扱いについては、管理体制を整備することにより、チェック機能を確保した。</p> <p>来園者からの要望に対しては、真摯に受け止め、可能なものは迅速に改善するよう努めた。</p> <p>来館者からの苦情・要望に対しては、職員間で情報を共有し、適切に対応することができた。</p> <p>業務実績の整備・保管を適切に行うことができた。</p>
---	--

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>【札幌芸術の森】</p> <p>【本郷新記念札幌彫刻美術館】</p> <p>▼ 適正な内容で36協定を締結したほか、雇用環境の維持向上のため、関係法令に基づき財団諸規則等の見直しをおこない、労働基準監督署に届け出た。</p> <p>▼ 給与の額や支給方法等の雇用条件については、財団の例規として、職員、契約職員、パート職員の各々について就業規則を定めているほか、職員については別途給与規程を制定し明示している。これらを変更する場合には職員の過半数を代表する者の意見を聴取し、行政官庁への届出を行っている。また、賃金台帳など法定帳簿等も整備している。</p> <p>▼ 就業規則を含む例規集は、財団内LANにより、常に各職員が閲覧可能な状態としている。</p> <p>▼ 毎月の給与の計算や社会保険・労働保険関係の各種手続き等は、財団の総務部署を通じ、社会保険労務士事務所に委託しており、労働関係法令改正への対応についても、社会保険労務士と相談して行っている。</p> <p>▼ 労働安全衛生法及び当財団衛生委員会要綱に基づき衛生委員会を開催し、衛生管理者、産業医とともに労働災害の防止、職員の健康管理及び職場環境の向上に努めている。</p> <p>▼ 産業医の選任のほか、顧問弁護士も導入しており、これらの専門家による、心身の健康面、雇用、仕事以外の相談を含めて個別相談にも応じる体制を採っている。</p> <p>▼ 「やりがいある仕事」と「充実した生活」の両立を目指した取組を行っている。</p>	<p>36協定の内容を遵守するよう、長時間労働の状況把握及び業務配分等に取り組んでいる。</p> <p>雇用環境については、繁忙期と閑散期があることを踏まえ、業務の効率化や人員体制の補強を行うなど、環境を整えるよう配慮している。</p> <p>また、札幌市ワーク・ライフ・バランス取組推進宣言企業(認証ステップ1)として認証を受けているほか、5年計画で策定した一般事業主行動計画を現在遂行中である。</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>労働関係法令に則した運用がなされているものの、一部に長時間労働の実態が認められることから、業務効率化や人員体制の補強など、雇用環境の向上に引き続き取り組んでいく必要がある。</p> <p>なお、財団全体として雇用環境の維持向上を図るため、さまざまな取組を進めており、本市の要求水準を満たす適切な管理運営が行われている。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>【札幌芸術の森】</p> <p>▼ 利用者の安全確保に関して、施設の外観や設備の定期的な点検・維持管理を行うとともに、常駐の設備管理員や警備員、清掃員とも情報交換を密にし、トラブル発生の事前回避に努めた。</p> <p>▼ 熊進入対策では、電気柵の維持管理について、業者による点検のほか、職員による定期的な目視点検を行い、柵の維持や異変の早期発見に注力した。</p> <p>▼ 損害賠償保険については、継続して、仕様に適合したものに加入した。</p> <p>▼ 冬季の除雪については、来園者の利便性の向上及び安全確保に努めた。また、凍結時の砂まきや融雪剤の散布等を早期に行うとともに注意喚起の掲示を増やし、事故等の未然防止を図った。</p> <p>▼ 企業組合との連携、協力により、施設の補修にかかる取組を行った。(札幌塗装工業共同組合によるアプローチ道路センターラインのボランティア塗装作業)</p>	<p>利用者の快適性、安全性を維持するため、各業者と連携を密にしながら適正な維持管理ができた。</p> <p>利用者の安全確保を最優先とし、より良い施設環境づくりに取り組むことができた。</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>施設・設備等の維持管理業務がなされており、本市の要求水準を満たす適切な管理運営が行われている。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

## 【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 利用者等の安全確保を第一に対応した。特に、冬期間は転倒防止のための砂まき、雪庇等の落雪事故防止の表示、カラーコーンの設置等を行った。

▼ 建物の構造上段差が多いため、特に高齢者・障がいのある人に対しては声掛けなどの配慮を行った。

▼ 庭園に設定しているブロンズ彫刻6体を固定し、転倒事故の未然防止を図った。

▼ 損害賠償保険は継続して、仕様に適合したものに加入した。

## ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

## 【札幌芸術の森】

▼ 施設維持管理にあたっては、来園者の安全・快適性を確保して適切に行った。適切な管理を行うため業務委託項目の見直しを行い、清掃や警備等、施設管理に関わる13業務、電気・空調設備等の建物保守関係の21業務の他、野外ステージや美術館に関わる管理業務等9業務、合計43業務について第三者委託により実施した。

## ▼ 主な修繕について

- ①子どもアトリエ塗装改修工事
- ②駐車場等縁石補修
- ③池周辺石組補修
- ④舗装路陥没等補修
- ⑤園路平板等補修

## 【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 施設維持管理にあたっては、来館者の安全・快適性を確保して適切に行った。警備・庭園管理については第三者委託により実施した。

## ▼ 下記の修繕を行った。

- ①除雪機点検・部品交換整備
- ②本館屋上RD管詰まり修繕
- ③駐車場縁石工事

## ▽ 防災

## 【札幌芸術の森】

▼ 下記のとおり、防災訓練等を実施した。

- ・消防訓練(11/16、12/21)
- ・普通救命 I 講習会(3/27)

## 【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 下記のとおり、防災訓練等を実施した。

- ・消防訓練(11/22)
- ・普通救命 I 講習会(3/27)※芸術の森と合同

利用者の安全性、快適性を維持するため、各業者と連携を密にしながら適正な維持管理ができた。

仕様書に則した維持管理業務を行うことができた。

状況に応じた適切な修繕を実施することができた。

仕様書に則した維持管理業務を行うことができた。

状況に応じた適切な修繕を実施することができた。

防災訓練では、各種感知器、防火設備、火報盤の機能講習を交え、職員の意識を高めた。

職員の防災への意識を高めることができた。



(4)事業の計画・実施業務	【札幌芸術の森】 ▽ 音楽・舞台芸術事業		A B C D

## ▼バレエセミナー2017

29回目の開催となったバレエセミナーは、前年度から主任講師に迎えたパリ・オペラ座の元エトワールで現スペイン国立ダンスカンパニー芸術監督のジョゼ・マルティネスをはじめ、同じくパリ・オペラ座の元エトワールのアニエス・ルテステュヤ、日本人初のブノワ賞受賞者である木田真理子など、国内外の優れた講師たちによる世界水準の指導を7日間にわたり行った。

## ▽ その他の文化芸術事業

## ▼ 「芸森アートマーケット」

市民の作品発表・展示の場を提供する事業として、昨年に引き続き実施し、通年で11回開催した。

市民アーティストが様々なジャンルの手作りアート作品を持ち寄り、発表・展示・販売を行った。

## ▼ 「ビッグバンドプロジェクト」

世界的ジャズピアニスト、デビッド・マシューズを音楽監督に迎え、地元ミュージシャンで編成した札幌ジャズアンビシャスを対象に年間を通じて定期練習を実施し、11月に初の定期演奏会を行った。2月にはサッポロ・ダンス・リミックス「スターダストクルーズ」として、ビッグバンドジャズとダンス、DJや津軽三味線を融合した公演を行った。

また、市内外でのアウトリーチコンサートも年間を通じて行った。

## ▽ 各種団体との提携による文化芸術の振興

市内芸術団体等と共催し、アートホールでのダンスショー「BIG SOUL vol.11『choice & destiny』」や、「OTO TO TABI」などの事業を行った。

## ▽ 美術館事業

## ▼ 展覧会事業

「札幌美術展 旅は目的地につくまでがおもしろい。(札幌市補助金事業)」「月光ノ絵師 月岡芳年」「札幌国際芸術祭2017」「現れよ。森羅の生命— 木彫家 藤戸竹喜の世界」「新海誠展『ほしのこえ』から『君の名は。』まで」「芸森の名品Ⅱ 学芸員がつなぐ名品のともしび」の計6本の特別企画展を開催したほか、作品公募事業「平成の『生れ出づる悩み』」の作品展示も実施(共催)。

また、B展示室を会場とした「ひびき合うコレクション」の小企画展により、当館収蔵作品(札幌市所蔵)の美術作品を展示、公開した。

さらに、屋外展開型の企画展として中庭インスタレーション「佐藤千穂『La Luz—ひかり—』」を美術館中庭で開催した。

[札幌芸術の森美術館]

展覧会企画数 : 8本

総入館者数 : 93,926人

今年度はレッスンに加え、新たにトップダンサーとしての講師の経験を聞く、座学を開講したほか、講師との交流会を実施するなど内容の充実を図り好評を得た。

芸森アートマーケットでは、芸術の森園内イベントと会期を合わせ、また音楽ライブと組み合わせるなどの工夫をし、園内の賑わいを創出した。

ビッグバンドプロジェクトについては、初めて行ったジャズアンビシャス定期演奏会がほぼ満席となり、2月の公演も前売券が完売するなど市民に活動が浸透し、高い関心が寄せられていることが感じられた。

芸術の森の施設と事業製作のノウハウを活かした他団体との連携により、意欲的なダンス事業や新たな音楽事業の発信を行うことが出来た。

今年度は、「札幌国際芸術祭2017」に加え、特に若い世代に人気の高い「新海誠展」など、話題性に富んだ美術を紹介し、幅広い世代の来館促進に努めた。

「月岡芳年」展は、芳年の師である「浮世絵師 歌川国芳」展(平成27年度開催)に続く当館2度目の浮世絵展で、国芳との比較パネルや版画工程の解説パネルを用意するなど、浮世絵鑑賞がより身近なものになるよう工夫を行った。

「藤戸竹喜の世界」展では、同氏の70年にわたる創作活動の軌跡をほぼ年代順に紹介。制作風景を収めた映像の上映も好評だった。当館での会期終了後は、国立民族学博物館(大阪)へ巡回し、広く全国へ札幌・北海道の美術を紹介することができた。

## ▼野外美術館

- ・新たな取り組みとして、野外美術館、子どもアトリエ、工芸館にて「岩合光昭写真展 THE CATS ねこ科 ねこは野生動物だ。」を開催した。作家にとっても初の屋外展示となり、子どもアトリエ、工芸館の展示と合わせて、86,000人もの来場者があった。
- ・来館者への作品鑑賞サポートとして、野外美術館作品解説ボランティア35名により、作品解説を行った。一般来館者への作品解説のほか、「ハロー！ミュージアム」参加校児童(小学5年生)への作品鑑賞サポートを行った。
- ・野外美術館の作品鑑賞の手引きとして、彫刻鑑賞ノートと、子ども向けには、シールを貼りながら作品を楽しく学ぶことができるシールマップを制作販売した。
- ・野外美術館の利用促進を目的に、引き続き犬を連れて入館できる「わん・わん・よい日」や「Wan Wanフェスティバル」を設け、センター前広場では、愛犬家に向けたワークショップやグッズの販売を行った。

## ▼教育普及に関する事業

- ・佐藤忠良記念子どもアトリエでは、彫刻家佐藤忠良作品を中心とした当館所蔵品を展示するとともに、多彩なワークショップを企画・実施した。

[佐藤忠良子どもアトリエ]

ワークショップ企画数:15本

総参加者数:2,009人

総入館者数:32,839人

そのほか、芸術の森美術館収蔵品を紹介するコレクション選では、前期には師弟関係や盟友との切磋琢磨といった関係が見て取れる、新収蔵品とかかわりの深い既存の収蔵作品を、後期では戦後北海道の前衛絵画を代表する4人の画家に焦点を当てて紹介し、当館のコレクションについて改めて周知する場とした。

市民から人気の高い、岩合光昭によるねこの写真展を、屋外で行うことで、大型作品の展示も行うことができ、躍動感あふれるねこの写真の数々に、多くの市民の来場を得ることができた。

作品解説ボランティアは、解説を行うための養成講座10回を受け研鑽を積み、定時解説、臨時解説など、来館者の希望に応じた時間や内容で解説を行い、道内外からの来館者からは、作品をより理解することができたと好評を得た。ボランティア活動としては、他美術館への視察や、自主研修を行うなど積極的な取り組みにより、より質の高い解説を今後も目指していく。

佐藤忠良記念子どもアトリエでは、油絵や日本画、和紙製本など、ほかではなかなか体験することができないワークショップを企画・開催した。油絵ワークショップは昨年度に引き続き人気が高かった。また、絵画制作で用いられる画材である下地剤(メディウム)など、専門的な材料を用い作品を制作するなど、工夫を凝らし、興味をひくワークショップを企画・実施した。保護者からも、子どもたちが積極的に楽しんで参加でき、指導もやさしく丁寧であると、大変好評であった。今後も、親子で美術に興味を持ってもらえる企画を考えていく。

## ▽ 工芸事業

## ▼ 工芸館展覧会事業

「0さいからのげいじゅつのもり 木でっ粘土でっ山あそび！海あそび！」「Sow」「北と手仕事 ライフストーリーズ」「0さいからのげいじゅつのもり 花ふるカラー」の計4本の企画展に加え、「芸術の森地区文化祭」を実施した。

[札幌芸術の森工芸館]

展覧会企画数：5本

総入館者数：53,374人

「0さいからのげいじゅつのもり」では、引き続き、冬期間に子どもたちが広いスペースで、さまざまな想像力を働かせて遊ぶことのできるアート体験の場として実施。小さな子ども連れの家族の来場が多数あったほか、リピーターも多く、この事業の認知度が高まりつつあることが伺えた。また、若手からベテランまで26名の工芸作家による「Sow」展や、当館へはじめて出品する若手・中堅の工芸作家9名による「北と手仕事」展では、幅広い分野の作家を紹介し、ワークショップや展示作品の販売を行ったほか、来場者が作家との交流を持つ場も設けたことから、来場者と作家との距離を近づけることができた。

冬期間に子どもが広いスペースでアート体験ができる展覧会として、0さいからシリーズを継続開催した。「冬に夏と遊ぶ」をテーマに、自由に遊びながら、大型の「階段木琴」等の木製の遊具やテキスタイルの作品などの工芸作品に親しめる展覧会となり、入場者が減少する冬季でありながら、28,862人の来場があり、小さい子を持つ家族連れやリピーターなど、定着してきている。

## ▼ 第17期工芸館常設展示事業

クラフト作家の展示機会を提供し、使い手には良質な作品と出会い購入できる場を提供することにより、クラフト文化の振興と流通拡大を図ることを目的に、工芸館に常設展示スペースを設置している。今年度は年中行事や食などと工芸を関連付けたテーマを設定し、展示を行うことで「工芸が生活に身近な存在」であることを伝えられるよう工夫をした。また、「箸置き」をテーマに、おのおのが「渾身」と思う逸品を出品してもらった企画を実施。今年度の出品作家は道内50名、道外13名の計63名。

会期：平成29年4月～平成30年3月

会場：工芸館常設展示スペース「ベストポケット」

幹旋販売額：3,723,334円（前年度実績：3,336,323円）

「母の日」「父の日」などに合わせ、贈り物におすすめの作品を選んで展示。「父の日」の企画では手織りのネクタイを約70本展示するとともに、そのネクタイができるまでの工程を映像で紹介した。また、「箸置き」をテーマにした企画では、作品に作家からのメッセージを添えて紹介することで、作品だけでなく、その作り手も身近なものとして感じてもらえるよう工夫を行った。

## ▼ 工芸・版画講習会事業

クラフト工房と各工房において、工芸と版画の裾野の拡大と制作技術の向上を目的とした講習会を通年で開催。陶芸、染色、手織、木工、七宝、ガラス、金工、版画の各分野で、個人向けの「工芸・版画講習会」、団体向けの「グループ講習会」、また、予約なしで気軽に作品制作が楽しめる「ふらっとクラフト体験」など、制作体験から技術習得、また、作家によるワークショップなど、初心者から上級者向けまでの幅広いプログラムを実施した。

会期：平成29年4月～平成30年3月

会場：クラフト工房、木工房、染工房、織工房、版画工房  
講習会総実施回数（ふらっと体験を除く）：556回（前年度実績：558回）

講習会総受講者数（缶バッジ体験を除く）：7,482人（前年度実績：7,903人）

## ▼ アウトリーチ事業

● 市内の特別支援学級や高齢者福祉施設を対象に職員が向ういてクラフト制作を体験してもらう「クラフト宅配便」を実施した。

会期：平成29年11月～平成30年3月

実施回数：3回（前年度実績：5回）

参加人数：28人（昨年度実績：65人）

● 市内のショッピングセンターやギャラリー、また当財団の本郷新記念札幌彫刻美術館や札幌市民ギャラリーに職員が向ういて工芸・版画講習会の体験イベントを実施した。

会期：平成29年7月～平成30年2月

実施回数：5回（前年度実績：5回）

参加人数：263人（前年度実績：308人）

## ▽ 自主事業（札幌市補助事業）

## ▼ 札幌市補助事業

● 札幌美術展「旅は目的地につくまでがおもしろい。」地域の美術家を紹介してきた「札幌美術展」の10回目。本展では、北海道ゆかりの8組の作家が、それぞれの感性で表現した「旅の途次」を想わせる作品を展示。「旅行」にちなんだものから、人生の旅、空想の旅、物語世界への旅など、概念的な「旅」に関連するものまで、バリエーションに富んだ展示となった。

（入場者数：5,573人）

単に「つくる」という体験で終わらずに、作ったものを暮らしの中で「つかう」ことに重きを置いた内容で講習会を実施し好評を得た。制作技術の向上を目的とする市民向けには「自由制作教室」を開催したり、外部から講師を招聘して講習会を実施することでリピーターの獲得に繋げることができた。

夏休みや冬休みの時期には親子で参加できるメニューで講習会を実施する工夫をした。

また、冬期間には市内の児童会館を対象とした低価格帯のグループ講習会「森のクラフト教室」を実施し、多くの子どもたちで賑わいを見せた。

普及事業の一環として実施した工芸・版画分野のアウトリーチプログラムには、普段、芸術の森に足を運ぶ機会が少ない市民にも参加してもらうなど芸術文化事業の紹介と制作体験の機会を創出することができた。

本展では、これまでの札幌美術展と比べ会期は短かったものの、雪のない季節の開催であったことから、来場者増につながった。特に、仙庭宣之による架空の芸術家の個展を模した謎解きゲームがとりわけ好評で、展覧会の新たな可能性を感じさせるものであった。10～30代の若年層の来場が多く、旅行や現代アートを好む層に働きかけることができた。

●子どもの美術体験事業「ハロー！ミュージアム」市内の小学校5年生児童を対象に、鑑賞活動及び造形活動の楽しさを体験するプログラムを実施した。「芸術の森美術館コース」「野外美術館コース」「子どもアトリエコース」「彫刻美術館コース」の4つのコースを設定した。昨年度より事前学習を担当の先生が行う方法に変更し、実施前にコース別説明会を開き、各コースの会場において、活動内容等の説明及び事前学習に関する模擬授業の実施と教材(事前学習キット)の配布を行った。また、鑑賞学習をサポートする協力員(教育サービスボランティア)の養成講座を実施し、今年度は40名が活動した。野外解説ボランティアとも連携しながら、児童の来館時の対応にあたった。

コース別参加校数等

- ・芸術の森美術館コース:64校
  - ・野外美術館コース:64校
  - ・子どもアトリエコース:51校
  - ・彫刻美術館コース:20校
- 総参加校数:199校  
総参加児童数:14,354人

#### 【札幌彫刻美術館】

##### ▽ 展覧会事業

- ▼ 総入館者数15,235人  
(本館9,993人、記念館5,242人)

#### 【本館】

下記の展覧会を開催した。

- 企画展(入場者数)
  - ・「アフリカの仮面と彫像」(1,919人)
  - ・子ども育成事業「わくわく★アートスクール」作品展(951人)
  - ・「New Eyes 2017 家族の肖像」(1,875人)
  - ・「記憶素子ー丸山隆と教え子たちー」(1,875人)
  - ・「さっぽろ雪像彫刻展2018」(458人)
- コレクション展
  - ・「あなたが選ぶ、本郷新のこの1点」(1,745人、H29年度は81人)
  - ・「ふれる彫刻・手でみるアート」(993人)

#### 今年度のハロー！

ミュージアムでは、市立小学校に加え、私立三育小、視覚支援学校、そして山の手養護学校が初めて参加。合わせて199校が参加した。

昨年度に引き続き、担当教員がどのように事前学習をすすめたらよいかのポイントなどをレクチャーする事前説明会をコース別に開催。教員が参加しやすくするため、夏休み期間中にも実施した。「対話による鑑賞」や、実際に同級生の頭像を作るなど、子どもたちは楽しんで参加していた。これにより、物の見方、感じ方を意識し、言葉で表現する大切さ、難しさとともに、さまざまな捕らえ方があり、認め合うといった多様性の尊重も重点とした。

「アフリカの仮面と彫像」では、芸術の森美術館所蔵作品を中心に作品を展示し、豊かな造形性を紹介。アカデミックな彫刻とは異なる側面からのアプローチで、立体芸術及び当館に親しみを感じてもらうことができた。

「わくわく★アートスクール」では、近隣3校の子ども達がアーティストとともに制作した作品を当館で展示した。

「家族の肖像」展では、若手作家育成を願った本郷新の遺志を受け、北海道を中心に活動する作家による家族の様々な表現を展覧した。

「記憶素子」展では、北海道教育大学札幌校で教鞭をとった彫刻家、故・丸山隆とその教え子たちによる作品を展示した。

「ふれる彫刻」展では、手でふれることで彫刻に気軽に親しんでもらうとともに、視覚に障がいのある方との鑑賞方法を考えるワークショップを開催し、立体芸術の可能性を探ることができた。

「さっぽろ雪像彫刻」展では、会場内にはすべり台も設け、家族づれや地域の方で前年を上回る賑わいだった。会期中は、三角山小3年生が作ったスノーキャンドルを点灯した。

## 【記念館】

本郷新の代表作や野外彫刻の石膏原型、制作道具などの常設展示を行った。H29年度から2階の一角に本郷新や彫刻芸術に関する図書を自由に閲覧できるコーナーを新たに設けた。

- ・「本郷新記念札幌彫刻美術館開館35周年記念 本郷新と札幌彫刻美術館」(6,572人、H29年度は46人)
- ・「本郷新の人と芸術」(5,196人)

記念館の展示では、本郷新の人となりや制作姿勢、札幌彫刻美術館の歩みを、作品、資料によって紹介することができた。新たに設けた図書・情報コーナーでは、もともと邸宅であった記念館の雰囲気を活かし、彫刻のある空間でゆっくりと過ごしてもらいたいという狙いどおりに来館者の在館時間が延び、またゆっくり来たい等好意的な言葉をいただいている。

## ▽ 本郷新の業績を顕彰することを目的とした事業

## ▼ 本郷新記念札幌彫刻賞(第2回)

- ・一次選考通過作品模型一般公開(702人)
  - ・二次選考
  - ・二次選考結果発表、講評会「フォーラム～これからの彫刻を考える」(32人)
  - ・授賞式(27人)
  - ・受賞作品除幕式(90人)
- (受賞作品 加藤宏子《improvisation～うけとめるかたち》)

前年度から引き続き、H29年度は二次選考を行ない、受賞作品選定から、大通への設置まで一通り終えることができた。

## ▽ 彫刻を中心とした美術に関する講座等

## ▼ 普及事業

●子どもの美術体験事業「ハロー！ミュージアム」(彫刻美術館コース)【自主事業(札幌市補助金事業)】

参加校数:20校 参加児童数:1,311人

●子ども育成事業「わくわく★アートスクール」作品制作

参加校:大倉山小学校、三角山小学校、宮の森中学校

参加児童・生徒数:2,408人

●連続講座2017「ぶらり、彫刻散歩の休日」

参加者数:65人

●おとなの造形教室

参加者数:7人

●ナイトミュージアム

参加者数:42人

●夏休み子ども造形教室

実施回数:2回 参加者数:36人

●冬休み子ども造形教室

参加者数:23人

●3日間だけのことに美術館「彫刻家・本郷新展」

会期:平成30年2月9日～11日 会場:西区民センター

入場者数:437人

「ハロー！ミュージアム」の彫刻美術館コースでは、20校が参加し、参加校からは内容について高い評価を得た。

子ども造形教室は多彩な内容で高い評価を得た。

大人の造形教室では札幌芸術の森クラフト工房の専門員に講師を依頼し、施設間の連携を図ることができた。

連続講座では、都心部での講座と展覧会パスポートを組み合わせた企画を行い、彫刻美術館へ足を運んでもらうきっかけづくりに努めている。

「3日間だけのことに美術館」は、利便地開催のため400人を超える来場者があり、本郷新の芸術の理解促進に大きな意義があった。

## ▼ 学校協力

●小学校教育への協力(児童数:のべ840人)  
三角山小学校3年生延べ460人(9回)をはじめ、総合学習や校外学習などに積極的に協力した。

●ボランティアの受け入れ  
札幌聖心女子学院中学校1年生9人

●職場体験の受け入れ  
宮の森中学校2年生2人、啓明中学校2年生2人、向陵中学校2年生2人

●その他教育機関の受け入れ(79人)  
中学校や大学などの団体観覧に対応した。

小学校教育への協力においては、三角山小学校3年生への年間を通じた授業協力を継続し、充実した取組ができた。

## ▽ その他彫刻美術館の設置目的を達成するための事業

## ▼ 促進事業

●美術館めぐり  
実施回数:2回 参加者数:43人

●サンクス・デー  
実施回数:2回 入館者数:501人

●ミュージアム・コンサート  
実施回数:3回(他の事業とあわせて開催)  
参加者数:184人

美術館めぐりは、芸術の森管理バスを利用して、市民の参加しやすい効率的なバスツアーとなるよう企画している。  
ミュージアム・コンサートでは地域や市内で活躍する演奏家に出演を依頼している。

## ▼ 貸館事業

・「新制作展―北海道ゆかりの作家たち展」478人  
・いけばな伝統文化教室 みんなの発表会 65人

## ▼ ボランティア活動の受入

ハロー！ミュージアムで児童への鑑賞指導を行うボランティア(協力員)を受け入れ、実際の活動と事前の研修を行った。また、H29年度より記念館に設けた図書・資料コーナーでの案内及び図書の整理をボランティアとともにやっている。

## ▼ 連携事業

●円山・宮の森散策マップ  
札幌宮の森美術館との連携。マップの配布とフェイスブックでの情報発信。

●彫刻セミナー(第2～4回)  
札幌彫刻美術館友の会と共催し、講演会やセミナーを実施。

## ●財団他施設との連携

H29年度は、芸術の森美術館所蔵作品の出品、芸術の森工芸専門員による造形教室を行ったほか、美術館めぐりで芸術の森を訪問した。

財団の他施設との連携を図り、財団の総合力を活かせる事業を行なっているほか、他団体とも積極的に連携し魅力ある事業を展開することができた。



(5)施設利用に関する業務

【札幌芸術の森】

▽ 利用件数等

・施設の利用状況

		H28実績	H29計画	H29実績
アートホールアリーナ	件数(件)	225	250	231
	人数(人)	20,830	23,600	19,100
	稼働率(%)	63.7	70.0	64.9
アートホール練習室	件数(件)	1,960	2,300	2,090
	人数(人)	20,469	23,100	23,805
	稼働率(%)	55.5	65.0	58.6
野外ステージ	件数(件)	37	40	37
	人数(人)	18,343	20,700	18,040
	稼働率(%)	19.6	21.0	19.6
各種研修室	件数(件)	4,974	5,390	5,025
	人数(人)	7,475	8,090	7,702
	稼働率(%)	85.9	92.0	69.2
各種窯	件数(件)	419	435	341
	人数(人)	604	610	564
	稼働率(%)	42.6	44.0	30.8
各種アトリエ・ロτζ	件数(件)	421	500	351
	人数(人)	2,290	2,600	2,821
	稼働率(%)	30.9	36.0	25.7
駐車場	件数(件)	70,327	70,000	49,845

▼ 木工研修室を安全に利用していただくことを目的とし、工房利用にかかる意見交換会を下記のとおり実施した。

・木工房利用者意見交換会(5/28、陶工房ワークショップルーム)

・入場者数 (人)

		H28実績	H29計画	H29実績
総入園者数		501,562	530,000	433,044
	芸術の森美術館	202,915	166,500	93,926
	芸術の森野外美術館	51,616	81,000	89,552

▽ 不承認0件、取消し59件、減免1,038件、還付32件(以上、施設の利用に関するもの)

▽ 利用促進の取組

▼ 芸術の森や文化芸術に気軽に親しんでもらうこと、来園者増を目的とし、園内全体でイベントを年4回開催。野外美術館の無料開放のほか、ものづくり講習会やスタンプラリー等を実施。芸森スプリングフェスタでは、総入園者数1,000万人記念「もりもり抽選会」等を実施し、集客とともに来園者の満足度向上を図った。

- ・芸森スプリングフェスタ 7,672人
- ・芸森バースデー 2,347人
- ・秋の芸森あったかサンキュー・デー 3,698人
- ・雪あかりの祭典 3,358人

アートホールアリーナは、前年度に比べ、件数は微増したが、人数は微減したことから、1件あたりの人数が少ない利用であったことがうかがえる。一方で、アートホール練習室の利用人数が3,000人以上増加しており、利用1件あたりの人数が増加している。

野外ステージは、件数・人数ともに前年度と比較し横ばいであった。

各種研修室は、件数・人数ともに前年度より増加したが、各種窯は減少した。

各種アトリエは、近年利用が多かった写真撮影や音楽練習での利用が件数的には減少しているが、1件あたりの利用人数が多かった。

駐車場利用件数は、総入園者数の伸び悩みと比例するように昨年度実績より約20,000台減少した。

今後とも、園内および各施設を活用した外部事業者とのタイアップによるイベントの誘致、施設の利活用について積極的な取組を継続していく。

四季にあわせて実施した年4回のイベントはいずれも好評で、特に「雪あかりの祭典」では3,300人を超える入場者となった。ものづくり講座をはじめ、幅広い年齢層の方が楽しめるような内容と低廉な料金の企画の工夫に努め、毎年恒例のイベントとして定着してきている。

A B C D

彫刻美術館では、主催展覧会にあわせて多彩な関連事業を開催する等、集客に向けた工夫を行っており、前年度を上回る来館者となった点は高く評価できる。

一方、札幌芸術の森では、総入園者数は43万余と、平成25年度以来50万人を割り込んでおり、屋内美術館入場者数も前年度を大きく下回っている。また、貸施設のアートホールアリーナ、野外ステージ及び各種研修室の利用状況についても、計画を下回っている。

以上のとおり、札幌芸術の森については、総入園者数と屋内美術館入場者数が前年度実績から大きな落ち込みを見せており、その他多くの施設で計画を下回っていることから、その乖離理由を分析し、利用状況の改善を図りたい。

▼ (公財)札幌市中小企業共済センターとの「さぽ～とさっぽろウィーク」など、各団体との連携事業に取り組んだ。また、札幌と小樽の芸術文化及び観光の振興を図るため、札幌市芸術文化財団、株式会社ニトリホールディングス、一般社団法人札幌観光協会、一般社団法人小樽観光協会の4者で「札幌小樽芸術文化・観光に関する連携協定」を締結し、初めての連携事業として小樽雪あかりの路期間中にジャズライブ、ものづくり体験アウトリーチを実施した。

▼ 開園以来実施している冬期間の野外美術館での「かんじきウォーク」では、外国人観光客のため昨年度に引き続きかんじきウォークの楽しみ方についての英語版リーフレットの配布を行った。

▼ 南区シーニックバイウエイ協議会に参加し、スタンプラリーの実施や無料カレンダーの制作、配布などを通じて、南区エリアの観光名所全体でのアピールに努めた。

▼ 地域との連携強化のため平成24年3月に協定を締結した札幌市立大学と、「南区学生まちナカアート展」の一環として地下歩行空間で芸術の森をテーマにしたPR展を行った。

また、平成24年に連携協定を締結した芸術の森地区連合会との事業では、毎年恒例となった「雪あかりの祭典」をはじめ、「芸術の森地区文化祭」や「芸術の森地区音楽祭」など、芸術の森の環境を生かし、地域の活性化に繋がる事業を継続実施した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▽ 利用件数等

		H28実績	H29計画	H29実績
本館 展示室	展覧会件数	6	7	7
	開館日数	301	284	284
本館 研修室	利用件数	6	6	6
	利用日数	11	49	49
本館 屋外	利用件数	4	2	2
	利用日数	7	4	4
記念館	展覧会件数	3	2	2
	開館日数	301	294	294
貸館	利用件数	2	2	2
	貸館日数	3	10	10
本館入館者数		9,579	8,000	9,993

▽ 不承認 0件、 取消し 0件、 減免 0件、 還付 0件

▽ 利用促進の取組

▼ 年2回「サンクスデー」として無料開館し、集客を図った。親子連れで楽しめる企画やミュージアムコンサートなどを実施し、幅広い層の来館を促す工夫をした。  
実施回数: 2回 参加者数: 501人

また、「わんわんよい日」など、様々な視点からの工夫により、芸術の森の豊かな自然環境を生かした企画を行い、好評を得た。

近隣地域との連携による事業の充実により、住民との交流を深めたほか、南区の魅力を伝えるために、各所と協力し、地域に根ざす施設として、地域団体による活用促進に努めた。

「アフリカの仮面と彫像」では、彫刻美術館に始めて来たという方が多く、当館の認知度を上げることができた。それぞれの展覧会において、多彩な関連事業を展開し、集客に努めた。

主催事業での利用がない際には、貸館の誘致を行った。H29年度は北海道で活躍する作家による展覧会が開かれた。このように新規の利用が増えるよう、情報発信を行なっていきたい。

入館者は前年度を上回り、本館9,993人、記念館5,242人、合計15,235人となった。

サンクスデーやワークショップなどのイベントについて地域への広報を積極的に行い、参加を呼びかけた。サンクスデーは大きな賑わいがあり、前年を上回るお客様に来館いただくことができた。

<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <p><b>【札幌芸術の森】</b></p> <p>▼ 広報の充実 課、係間を越えた職員で広報会議を定期的に行い、情報の共有に努めるとともに、積極的な情報発信を図った。</p> <p>▼ ホームページによる情報発信の充実 平成28年11月に全面リニューアルを実施したホームページの内容をさらに充実させた。また、季節にあわせトップページのメイン写真を変更し、芸術の森の自然を伝える魅力を伝えた。 シティ・ジャズやバレエセミナー等の情報量が多い事業は、引き続き個別のホームページを設け、ターゲットを絞った情報発信を行った。 ・ホームページアクセス数 H29 : 1,501,704件 (参考)H28 : 1,174,624件</p> <p>▼ その他SNSによる情報発信の充実 新たに芸術の森公式Instagramアカウントを開設し、Facebookと併せてリアルタイムの情報発信を行った。各施設のアカウントを合わせ、Facebookページ「いいね！」数は20,141人、Instagramフォロワー数は447人、Twitterフォロワー数は16,535人となり、情報拡散に努めた。</p> <p>▼ ニュースリリースによるマスコミへの情報提供 毎週、市政記者室をはじめマスコミ、運営協議会委員、事業関係者など約150箇所に、芸術の森の最新情報をリリースする「今週の芸森。」をメールマガジン形式で配信するとともにホームページに掲載し、スピーディな情報発信に努めた。</p> <p>▼ 小学生対象の情報紙ルアプラスの発行 毎年2回、札幌市内全小学生を対象とした情報紙「ルアプラス」を継続して発行し、長期休暇期間に実施する子ども向けワークショップ等の体験型講座やイベント情報を掲載した。</p> <p><b>【本郷新記念札幌彫刻美術館】</b> 通常のホームページ運営に加え、フェイスブックやツイッターでのこまやかな情報発信に努めた。また、宮の森地区連合町内会、近隣小学校へのチラシ配布を通じて地域住民への広報に積極的に取り組んだ。 ホームページアクセス数: 1,450件 (参考)H28: 2,007件 フェイスブック「いいね！」数: 691件 (参考)H28: 612件 ツイッターフォロワー数: 3,713件 (参考)H28: 3,300件 芸術の森の連携により、広報ツール(ニュースリリースや情報紙ルアプラス)の共有も行っている。</p>	<p>ホームページの全面リニューアルが市民にも知れ渡り、「わかりやすい」「見やすい」というご意見をいただくことが増えた。また、展覧会・イベント欄を担当者がそれぞれ更新することで、リアルタイムで詳細な情報を発信することができた。 このほか、SNS更新にも力を入れ、より多くの閲覧者の心に届くような投稿を心がけた。また、更新頻度も高めることで、情報拡散に努めた。 ルアプラスの発行については、イベント情報を充実させ、情報ツールとして充実を図り、集客につなげることができた。</p> <p>SNSの活用により若年層への情報提供ができたほか、地域住民への広報に引き続き注力し、地域での認知度を高めることができた。また、プレスへの直接的な働きかけを地道に行い、事業や取組を記事として取り上げてもらうことができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>札幌芸術の森では、ホームページの内容の充実を図るなど、利用者に分かりやすい情報発信に努めた結果、ホームページアクセス数が前年度と比較して32万件余増加した。また、SNSやメールマガジンによるタイムリーな情報発信を継続している点は高く評価できる。 彫刻美術館では、前年度実績との比較して、ホームページアクセス数が下回ったものの、ツイッターフォロワー数は上回っており、SNSを活用した効果的な情報発信が行われており、本市の要求水準を上回っている。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>札幌芸術の森では、ホームページの内容の充実を図るなど、利用者に分かりやすい情報発信に努めた結果、ホームページアクセス数が前年度と比較して32万件余増加した。また、SNSやメールマガジンによるタイムリーな情報発信を継続している点は高く評価できる。 彫刻美術館では、前年度実績との比較して、ホームページアクセス数が下回ったものの、ツイッターフォロワー数は上回っており、SNSを活用した効果的な情報発信が行われており、本市の要求水準を上回っている。</p>			
	A	B	C	D							
<p>札幌芸術の森では、ホームページの内容の充実を図るなど、利用者に分かりやすい情報発信に努めた結果、ホームページアクセス数が前年度と比較して32万件余増加した。また、SNSやメールマガジンによるタイムリーな情報発信を継続している点は高く評価できる。 彫刻美術館では、前年度実績との比較して、ホームページアクセス数が下回ったものの、ツイッターフォロワー数は上回っており、SNSを活用した効果的な情報発信が行われており、本市の要求水準を上回っている。</p>											

2 自主事業その他		A	B	C	D
<p>▽ 自主事業</p> <p><b>【札幌芸術の森】</b></p> <p>▼ レストラン事業 センター2階の野菜を中心にしたビュッフェレストラン「ごちそうキッチン 畑のはる」では、北海道産、とりわけ札幌近郊の食材を取り入れたメニューを通年で提供し、夏季にはデザートタイムを設けたほか、人気デザートである豆乳ソフトクリームやぜんざい等のテイクアウトを実施することで、来園者の軽食ニーズの対応に努めた。また、美術館ではカフェ「ラ・フォルア」を営業した。(利用者：13,842人)</p> <p>▼ 売店事業 直営で運営しているミュージアムショップでは、展覧会の大規模な特設ショップとは別に、展覧会関連グッズを独自に取り扱った。また、園内各所に22台の自動販売機を設置し、広い施設内の複数個所で水分補給ができるようにするとともに熱中症の注意喚起を行うなど、利用者のニーズへの対応に努めた。</p> <p><b>【札幌彫刻美術館】</b></p> <p>▼ 自動販売機を設置し、来場者の利便性向上に努めた。</p>	<p>道産を中心とした食材にこだわったレストランのメニューは、幅広い世代に好評で、特に、夏休み期間中は多くの利用者でにぎわった。また、来園者から要望のあったソフトクリーム等のテイクアウトは引き続き実施し、好評を得た。 ミュージアムショップでは、地元作家のオリジナル作品など、ここでしか取り扱いのない作品の販売により、顧客を少しずつ増やしている。中にはSNSで周知され、毎回販売と同時に完売する作家作品なども取り扱い、反響を得ている。今後も小規模ながら、楽しくセンスにあふれ来館者を飽きさせない工夫を行う。</p>	<p>ビュッフェレストランにおける札幌近郊の食材を活用したメニューの提供、ミュージアムショップにおける地元作家の作品販売など、北海道・札幌の魅力をPRする取組が見られた。 その他、業務委託時に地元企業や福祉施設の活用を意識的に行っており、本市の要求水準を満たす適切な管理運営が行われている。</p>			
<p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p><b>【札幌芸術の森】</b></p> <p>▼ 各種保守点検、修繕業務の再委託について、その大部分を市内の企業に発注した。また、高齢者就労支援業者(シルバー人材センター)に受付業務の一部を委託したほか札幌芸術の森美術館で開催される展覧会やイベントの広報印刷物の封入作業を、昨年に引き続き近隣の福祉施設に発注した。</p> <p>▼ 「サッポロ・シティ・ジャズ事業」では、設営や舞台技術、警備、飲食提供等の業務において、市内を中心に事業展開している企業を採用したほか、ライブができるロケーションを保有する様々な企業・団体と連携し、各会場の特性に合わせたライブイベントを数多く制作・実施した。 また、福祉施策としては、車椅子の方や障がいをお持ちの方でも気軽に来場できるよう、通路幅を広く設定した「ユニバーサルジャズライブ」の実施や、客席の一部を栈敷にしプレイスペースとした「デイタイム親子ジャズ」の実施など、多くの市民に来場いただけるよう、工夫した企画を行った。</p> <p>▼ 「札幌ジュニアジャズスクール事業」では、病院や福祉施設における演奏会を積極的に行った。</p> <p><b>【本郷新記念札幌彫刻美術館】</b></p> <p>▼ 業務委託、消耗品等の購入は市内の企業を活用した。</p> <p>▼ 一部清掃、クリーニング業務を、市内の福祉施設に発注した。</p>	<p>各種保守点検、修繕業務の再委託、彫刻美術館での消耗品の購入について、その大部分を市内の企業に発注するよう努めたほか、一部の業務を福祉施設に発注するよう努めた。 市内企業の活用については、業務発注だけでなく、企業・団体と連携したイベント制作を行い、様々な形で地域企業を活かすことができた。 福祉施策への配慮も、複数の事業において積極的な取組を行うことができた。</p>				

3 利用者の満足度				A	B	C	D
▽ 利用者アンケートの結果							
【札幌芸術の森】							
実施方法	平成29年4月～平成30年3月 施設・事業毎のアンケート用紙を作成し配布。						
結果概要	回答:利用者アンケート 435件 事業アンケート 8,766件 (音楽・舞台芸術事業2,583件、美術館事業5,127件、工芸・工房事業1,056件) 施設に対する総合的な満足度は95.4%（「とても良い」、「良い」、「普通」の合計）と、前年度と比較して良い評価をいただいた。一方で、職員の接遇に対する満足度は82.6%（「とても良い」、「良い」、「普通」の合計）と、前年度より満足度が低下した。 施設表示の工夫や施設利用に関する意見や要望については、可能なものから都度迅速に対応するように努力した。	アンケート調査の結果、施設に対する満足度は、前年度に比べて上昇したが、職員の接遇に対する満足度は低下した。 今後は、来園者・利用者への接客対応の改善と、来園者・利用者の声を取り入れることができるよう努める。		両施設とも、「総合的な満足度」及び「職員の接遇についての満足度」は、本市の要求水準である80%を超えている。			
利用者からの意見・要望とその対応	利用者からの意見や要望に関しては、職員間で情報を共有し、その都度迅速に対応した。 意見・要望については別添のとおり						
【札幌彫刻美術館】							
実施方法	無記名の記入方式(通年)						
結果概要	回答546件 来館者の施設に対する総合的な満足度は97.6%（「とても良い」、「良い」、「普通」の合計）、職員の接遇についての満足度は97.3%（「とても良い」、「良い」、「普通」の合計）と、総じて高い評価を得ることができた。	職員の接遇については前年度に引き続き高い評価を得ることができた。 展示についてもおおむね高い評価を得ることができた。今後もより充実した内容にできるよう努める。					
利用者からの意見・要望とその対応	【要望】英語の案内表示、キャプションがほしい。 【対応】現在、館内の案内、常設展示作品から対応できるよう準備を進めている。  【要望】(記念館)もっとたくさん作品を展示してほしい。 【対応】限られたスペースではあるが、観覧者の動線を確保しつつ展示作品数を増やした。また、不定期ではあるが作品を入れ替え、リピーターにも対応した。  【要望】きれいだが経年劣化が気になる。 【対応】引き続き館内の清掃に取り組むとともに、優先順位をつけながら適宜補修を行い、快適な環境の維持に努める。						

4 収支状況				A	B	C	D
▽ 収支 (千円)				<p>経費節減や助成金獲得には努めたものの、計画よりも収入は減少し、支出については増加した。そのため、純利益は計画比で57,244千円の悪化となった。</p> <p>来年度は、集客の強化による収益の確保に努め、併せて、費用執行の管理を徹底する。</p>	<p>収支差額が計画比で約57,000千円のマイナスとなった。収入では、入園者数の伸び悩やみによる駐車場料金の減収により利用料金が計画比で約11,000千円の減となった影響により減収となった一方、支出では、事業充実を図るための委託費や諸謝金等の増や施設老朽化による計画外修繕費が嵩んだことが主な要因となっている。</p> <p>民間助成金の積極的な獲得を図るとともに、自己資金を活用した自主事業の実施や、設備投資による利益還元を行っている点については評価できるものの、収支が計画比で大幅に悪化していることから、施設稼働率の一層の向上や、主催事業における収支改善を図るとともに、安定的な事業運営を確保するため、より緻密な事業計画及び予算編成を作成されたい。</p>		
収入	832,176	823,620	▲ 8,556				
指定管理業務収入	792,957	785,394	▲ 7,563				
指定管理費	624,223	624,223	0				
利用料金	62,446	51,037	▲ 11,409				
その他	106,288	110,134	3,846				
自主事業収入	39,219	38,226	▲ 993				
支出	848,676	897,364	48,688				
指定管理業務支出	792,131	837,097	44,966				
自主事業支出	56,545	60,267	3,722				
収入-支出	▲ 16,500	▲ 73,744	▲ 57,244				
利益還元	0	0	0				
法人税等	0	0	0				
純利益	▲ 16,500	▲ 73,744	▲ 57,244				
▽ 説明							
<p>▼ 利用料金収入は野外美術館観覧料、工房等利用料、駐車場利用料である。平成29年度は、春から夏季にかけ入園者数が伸び悩み、なおかつ好調であった冬季をもっても駐車場料金の年間計画には及ばず、利用料金として計画比で11,409千円の減収となった。</p> <p>▼ その他収入とは、講習会受講料、企業協賛金、他の団体からの助成金等。バリエセミナーが競合セミナーと日程が重なったことなどから受講料収益が減少したものの、民間助成金を積極的に申請し、獲得できたことから、計画比3,846千円の増収となった。</p> <p>▼ 指定管理業務支出について、当年度中は民間の助成金などの決定を受けて、内容の充実を図り、委託費や諸謝金などが増加したこと、施設老朽化に伴う計画外の修繕に費用を要したことなどから、計画に比して44,966千円増加している。</p> <p>▼ 自主事業支出は、岩合光昭展におけるグッズ販売業務をアウトソーシング化したことなどから、計画に比して3,722千円増加した。なお、当年度中においては、財団の自己資金を活用して、「ジュニアジャズ国際交流事業」などの事業にも取り組んだ。</p> <p>▼ この結果、収支差引額は計画比で▲57,244千円となったが、過去の経営努力により獲得した財産により対応した。</p>							

<確認項目> ※評価項目ではありません。		適	不適
▽ 安定経営能力の維持 当団体の財務状況等は、債務超過、累積欠損の状態になく、自己資本比率が50%以上等のため、経営の健全性が保たれており、安定経営能力が維持されている。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応  【札幌芸術の森】 【札幌彫刻美術館】 ▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼ 情報公開請求については、1件の申出があり、全て適切に対応した。 ▼ オンブズマンについては、案件は生じなかった。 ▼ 暴力団関係については、案件は生じなかった。	適	不適	

## Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p><b>【札幌芸術の森】</b></p> <p>平成29年4月、昭和61年の開園以来、31年目で総入園者数1千万人を達成した。しかしながら、平成29年度の総入園者数は433,044人で、前年度より約68,000人減少し、それに比例するように駐車台数も49,845台と、前年度より約20,000台を減少した。</p> <p>主催事業について、音楽・舞台芸術事業では11回目を迎えた「サッポロ・シティ・ジャズ」を継続し、200名を超える市民が札幌駅前通を行進するオープニングパレードをはじめ、大通公園2丁目のテントライブやパークジャズライブ、芸術の森野外ステージでのノースジャムセッションを開催し、過去最高の16万8千人の来場者を記録した。</p> <p>展覧会事業では、「札幌国際芸術祭2017」、「木彫家藤戸竹喜の世界」の他、計6本の特別企画展を開催した。</p> <p>野外美術館では、美術館の新たな取り組みとして、「岩合光昭写真展」を開催し、作家にとっても、初の屋外写真展で、最大約2メートルの大型作品106点を展示し、好評を博した。</p> <p>工芸事業では、陶芸や木工、染織など8つの分野で講習会を約560回開催し、約7,500人が参加した。一部の講習会では、美術館の展覧会と連動して開催することにより、芸術の森ならではの「鑑賞」と「制作」を一度に体験できる機会を提供した。</p> <p>育成事業では、「札幌ジュニアジャズスクール」、「バレエセミナー」、「縄文太鼓でアートキャンプ」の他、「ビッグバンドプロジェクト」等の芸術創造事業を実施した。</p> <p>施設の維持管理については、老朽化に伴う園内各施設や園路の補修、冬季の除雪の他、来園者が多い事業の開催にあたっては、お客様の誘導等、迅速な対応に努め、安全で快適な環境を安定的に提供することができた。</p> <p>札幌芸術の森の設置目的達成の指標のひとつとなる総入園者数については前述のとおりの結果となったが、他方、もうひとつの指標となる利用者の満足度については、施設に対する総合的な満足度が95.4%、職員の接遇に対する満足度が82.6%と、いずれも高い評価を得ることができた。</p>	<p><b>【札幌芸術の森】</b></p> <p>第4期指定管理期間については、芸術の森がこれまで蓄積してきた音楽・舞台芸術、美術、工芸の各分野における専門知識や事業運営のノウハウを活かした事業を継続するとともに、新たに各分野が融合する事業を展開する。</p> <p>また、事業展開にあたっては、芸術の森の大きな魅力である野外美術館を中心とする「自然」を最大限に活かし、自然と芸術が融合する事業を積極的に実施する。</p> <p>育成事業では、子どもから大人まで様々な世代を対象として、人材育成に関する事業を実施することにより、アーティスト、ボランティア、愛好者等、芸術文化を担い、支える人材を育成するとともに、芸術文化の体験を通して、豊かな情操と想像力、多様性を認める感性を育む機会を提供する。</p> <p>集客にあたっては、広報の充実や外部機関との連携を図り、リピーターの増加と観光客の誘致にこれまで以上に力を入れる。</p> <p>施設の維持管理については、来園者が安全な環境で安心して芸術文化活動に専念できるよう、安全な環境整備と施設の維持管理に努める。</p>

<p><b>【札幌彫刻美術館】</b></p> <p>本館入館者数が9,993人と1万人にわずかに及ばなかったが、開館35周年であった前年を上回った。これは指定管理業務の目標とする9千人を達成しており、記念館入館者数と合計すると15,235人だった。</p> <p>展覧会事業では、「ふれる彫刻・手でみるアート」、常設展示「本郷新の人と芸術」の2つのコレクション展で、本郷新の人、作品のさまざまな側面を紹介するとともに、来館者に鑑賞をより深めてもらうため、また多様な魅力に気がついてもらうための取組を行った。</p> <p>企画展「家族の肖像」、「記憶素子」では北海道に縁のある彫刻・立体表現を追求する作家の活動を紹介することができた。</p> <p>さらに、「アフリカの仮面と彫像」を通して、アカデミックな彫刻とは違った立体表現の一端を紹介した。</p> <p>本郷新記念札幌彫刻賞では、第2回の二次選考により受賞作品を選出。授賞式を経て受賞作品を設置、除幕式を行った。</p> <p>その他の事業では、ハロー！ミュージアムや「わくわく★アートスクール」、近隣小学校への協力などの教育活動を通じて、子どもたちに充実した体験を提供することができた。また、美術館めぐり・造形教室などの人気事業は継続して内容の充実に努め、サンクスデーでは幅広い層に美術館をPRすることができた。</p> <p>施設の維持管理については、日々の点検により故障等の早期発見・早期対応に努め、業務仕様書や管理業務の計画書に基づき適切に実施することができた。</p>	<p><b>【札幌彫刻美術館】</b></p> <p>本郷新の顕彰、彫刻を中心とした文化芸術の振興という基本に軸足を置き、彫刻美術館の特色を活かした魅力ある事業展開に引き続き努め、入館者の増加を図っていく。事業の企画立案に当たっては、彫刻芸術の真価を伝えるものから、広く立体芸術の魅力伝えるものまで、様々に展開する。作家本人のアトリエであった記念館では、建物がもつ雰囲気を活かし、本郷新の芸術と業績を豊富な作品と資料により紹介するとともに、館が所蔵する彫刻芸術についての資料を広く一般に公開し、市民の文化芸術活動の支援を推進する。</p> <p>普及事業では、ハロー！ミュージアムや長年携わってきた近隣小学校への協力など、引き続き教育の場としての美術館の特色を打ち出していく。</p> <p>また、地域とのつながりを引き続き重視し、より地域に親しまれる美術館を目指すとともに、財団他施設や民間企業との連携・協力関係を築き、事業展開の幅を広げていく。</p> <p>施設の維持管理については、札幌市と協議しながら、安全性の向上と快適な環境づくりに努める。</p>
---	--

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>両施設とも、全般的に本市の要求水準を満たしており、適切な運営管理がなされている。</p> <p>主催事業について、芸術の森では、札幌国際芸術祭2017や野外美術館における写真展を開催し、施設の特性を生かした事業展開を行っており、彫刻美術館では、主催展覧会にあわせた多彩な関連事業を開催する等により来館者を伸ばしており、多くの市民に多彩な文化芸術に親しむ機会を提供していることについては高く評価できる。</p> <p>収支状況については、民間助成金の獲得や利益還元を図る取組は評価できるものの、利用料金の伸び悩み等により収入全体では減となった一方、事業支出等、支出全体が計画を大きく超過した結果、大幅なマイナス決算となっている。安定的な施設運営を行っていくためには、事業全体の今後のあり方についての再検討を含め、収支改善の取組が必要である。</p>	<p>芸術の森については、総入場者数及び屋内美術館の入館者数が近年実績と比較して大きな落ち込み見せたほか、他の多くの施設についても利用件数や人数等が計画を下回っており、その要因を分析し、利用状況の改善を図ること。また、野外ステージ等の一部施設については、稼働率が低く、施設の有効活用が図られていない状況にあることから、引き続き利用促進に向けた取組に努めること。</p> <p>安定的な事業運営を確保するため、より緻密な事業計画、予算編成により、収支改善に努めるとともに、事業全体の今後のあり方について再検討を行うこと。</p> <p>また、経理関係事務の再点検、管理監督者の役割及び意識の徹底、適切なサイクルでの配置転換、コンプライアンス研修の実施、財団所管の実行委員会に対する内部監査の実施、これらの取組状況の報告については、引き続き取り組むこと。</p>



平成29年度主催事業分類一覧表  
 ≪芸術文化の創造発信と普及振興事業≫

I

芸術の森事業部

	入場（館）者数参加者数	新規	道外開催事業	
			道外	国外
<b>1 音楽・舞台芸術事業</b>				
（1）札幌の文化芸術発信事業				
①サッポロ・シティ・ジャズ2017	51,981			●
ノースジャムセッション	3,057			
（2）次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業				
①第18期札幌ジュニアジャズスクール	（参加者数）53			
ジュニアジャズ国際交流事業	（入場者数）525			●
②札幌芸術の森バレエセミナー	（参加者数）55			
③北海道グループキャンプ	（参加者数）52			
	（入場者数）123			
（3）芸術文化を通じた市民活動の促進				
①パークジャズライブ	114,707			
②ジャズセーバーズ	（参加者数）17			
③芸森アートマーケット	（出店者数）447件 （入場者数）2,227人			
（4）質の高い文化芸術の創造・提供事業				
①ビッグバンドプロジェクト	3,489			
（5）各種団体との連携による文化芸術の振興				
①各種団体共催・施設利用促進事業	2,148			
<b>2 芸術の森美術館事業</b>				
（1）展覧会事業				
①札幌美術展 旅は目的地につくまでがおもしろい。	5,573			
②月光ノ絵師 月岡芳年	13,202	●		
③札幌国際芸術祭2017	45,092			
④現れよ。森羅の生命― 木彫家 藤戸竹喜の世界	12,070	●		
⑤新海誠展 「ほしのこえ」から「君の名は。」まで	23,399	●		
⑥芸森の名品Ⅱ 学芸員がつなぐ名品のともしび	941			
⑦札幌芸術の森美術館コレクション選 ひびき合うコレクション	9,919			
⑧中庭インスタレーション 佐藤千穂 「La Luzーひかりー」	—			
⑨平成の「生れ出づる悩み」	1,559			
（2）野外美術館				
①岩合光昭写真展 THE CATS ねこ科 ねこは野生動物だ。	86,425	●		
②ボランティアによる作品解説及び鑑賞サポート	4,897			
③彫刻鑑賞ノート、野外美術館シールマップ	288			
④わん・わん・よい日	477人、犬276頭			
⑤Wan Wanフェスティバル	162人、犬65頭			
⑥野外美術館かんじきウォーク	1,570			
（3）教育普及事業				
①佐藤忠良子どもアトリエワークショップ	2,009			
②子どもの文化芸術体験事業 ハロー！ミュージアム	14,354			
（4）利用促進				
①ミュージアムショップ運営	—			
（5）人材育成				
①博物館実習生受け入れ	12			
②ボランティア受け入れ	85			
<b>4 工芸・工房事業</b>				
（1）展覧会事業				
①0さいからのげいじゅつのもり 木でっ粘土でっ山あそび！海あそび！	28,862			
②Sow	8,335	●		
③芸術の森地区文化祭	598			
④北と手仕事 ライフストーリーズ	10,062			
⑤0さいからのげいじゅつのもり 花ふるカラー	5,517			
⑥第17期工芸館常設展示事業	—			
（2）普及事業				
①講習会事業	7,482			
<b>5 利用促進</b>				
①広報活動				
（1）ホームページ、SNSの活用	—			

(2) ニュースリリース「今週の芸森。」	—			
(3) ルアプラス夏休み号・冬休み号	—			
②四季を通じた集客・施設開放事業の実施				
(1) 芸森スプリングフェスタ	7,672			
(2) 芸森ハッピーバースデー	2,347			
(3) 夏休み特別企画	766			
(4) 秋の芸森あったかサンキュー・デー	3,698			
(5) 雪あかりの祭典	3,358			
③札幌市立大学・芸術の森地区連合町内会等との地域連携				
(1) 南区学生まちナカアート展inチ・カ・ホ チカホに芸森がやってきた!	—			
(2) 札幌市保養センター駒岡陶芸教室 第1回陶寿房陶芸展	510			
(3) 第2・3回芸術の森地区文化祭	598			
(4) 第2回芸術の森地区音楽祭	374			
(5) 雪あかりの祭典	3,358			
④各団体との事業提携				
(1) 札幌芸術の森さぼ〜とさぼろウィーク	397			
(2) 札幌小樽芸術文化・観光に関する連携協定	395			
⑤グリーンカーテン等環境負荷軽減のための活動	—			
<b>5 彫刻美術館事業</b>				
(1) 展覧会事業				
◇企画展				
①アフリカの仮面と彫像	1,919	●		
②子ども育成事業「わくわく★アートスクール」作品展	951	●		
③New Eyes 2017 家族の肖像	1,875			
④記憶素子-丸山隆と教え子たち-	1,875	●		
⑤さぼろ雪像彫刻展2018	458			
◇コレクション展				
①コレクション展 あなたが選ぶ、本郷新のこの1点	1,745			
②コレクション展 ふれる彫刻・手でみるアート	933			
③本郷新記念札幌彫刻美術館開館35周年記念 本郷新と札幌彫刻美術館	6,572			
④本郷新の人と芸術	5,196			
(2) 本郷新記念札幌彫刻賞				
①第2回本郷新記念札幌彫刻賞 一次選考通過作品模型一般公開	702			
②第2回本郷新記念札幌彫刻賞 二次選考	—			
③第2回本郷新記念札幌彫刻賞 二次選考結果発表・講評会「フォーラム〜これからの彫刻を考える」	32			
④第2回本郷新記念札幌彫刻賞 授賞式	27			
⑤第2回本郷新記念札幌彫刻賞 受賞作品除幕式	90			
(3) 貸館事業				
①新作展 北海道ゆかりの作家たち展	478			
②いけばな伝統文化教室 みんなの発表会	65			
(4) 普及事業				
①子どもの美術体験事業 ハロー!ミュージアム(20校)	1,311			
②ハロー!ミュージアム会場見学会(彫刻美術館コース)	38			
③子ども育成事業「わくわく★アートスクール」作品制作(3校)	2,408	●		
④連続講座2017 ぶらり、彫刻散歩の休日	65			
⑤美術館めぐり(2回)	43			
⑥夏休み子ども造形教室「ブロンズ粘土で彫刻をつくろう!」	36			
⑦ナイトミュージアム	42			
⑧おとなの造形教室「いろどりの家」	7			
⑨冬休み子ども造形教室 「くるくるペーパーキリングで葉っぱのレリーフ制作」	23			
(5) 協力事業				
①学校教育への協力(31回)	919			
②ボランティアの受け入れ	9			
③職場体験の受け入れ	6			
(6) 連携事業				
①円山・宮の森散策マップ	—			
②彫刻セミナー(第2回)文化講演会「古代ギリシアのブロンズ彫刻」	15			
③彫刻セミナー(第3回、第4回)野外ブロンズ彫刻保存セミナー	29			
④3日間だけのことに美術館 彫刻家・本郷新展	437	●		
(7) 利用促進				
①サンクスデー(1回目)	283			
②サンクスデー(2回目)	218			

平成 29 年度アンケート回収結果

	施設管理関係 (施設利用者・来園者等)	音楽・舞台芸術事業 (サッポロ・シティ・ジャズ、ジャズスクール、バレエセミナー等)	美術館事業 (各展覧会)	工芸・工房事業 (工芸各展覧会、講習会、子ども育成事業等)	合計
回収数	435	2,583	5,127	1,056	9,201

利用者からのご意見・要望

ご意見・ご要望	対応
<p>野外美術館について</p> <p>アンケート回答件数 173 件</p> <p>○岩合作品がとても良かった。次回があればもっと写真を多くしてもらいたい。</p> <p>●車いすへの対応範囲を広めて欲しい。</p>	
<p>その他の施設・サービスについて</p> <p>アンケート回答件数 186 件</p> <p>○清潔に維持され落ち着いた場所です。また来たいです。(有島武郎旧邸)</p> <p>●一人用の泊まる施設があると連泊で利用できる。(アトリエ・ロッジ)</p>	
<p>レストラン</p> <p>アンケート回答件数 76 件</p> <p>○品数が良い。</p> <p>○浅漬けがとても美味しかった。</p> <p>●レストランでバイキングではなく、少し手軽に食べられるメニューもあると良い。</p> <p>●椅子が座りにくい。幅が狭いほうが後ろの人とぶつからなくて済むのではないか。</p>	
<p>音楽・舞台芸術事業について</p> <p><b>【サッポロ・シティ・ジャズ】</b></p> <p>アンケート回答件数 1637 件</p> <p>○初めてでしたが、最高でした。何度も来たくなりました。終わった後すぐに退場ではなく余韻に浸れるのが良いですね。</p> <p>○PMFと合わせていい音楽の「祭り」になっている。</p> <p>●7/15のパルミエリのコンサートは体調が悪くなるくらい暑かった。空調を含めた鑑賞環境が値段に全く対応していない。</p> <p>●飲食物の提供システムがうまく行っていない。ドリンク提供はせめて早めに。料理が勝手にキャンセルされたり、2つ来たりしています。次年までに改善してくださいね。</p>	

**【ノースジャムセッション】**

アンケート回答件数 236 件

○チック・コリア&スティーブ・ガッドを札幌で生で聴けるなんて最高です。ありがとうございます！

○とても楽しかった。夜空を見ながら、夜風に当たりながら聴くJazzは最高でした。出演者の方、スタッフの皆様ありがとうございます。

●チケット高い。子供料金を作って欲しい。子供にもジャズを聴かせたいので。屋外はいいチャンスだから。

**【ビッグバンドプロジェクト サッポロダンスリミックス】**

アンケート回答件数 221 件

○自分もダンスをしていて今後の果てしなく良いモチベーションに繋がりそうです。ダンスと音楽を更に大好きになれる日になりました。

○昨年も観ました。DJの方と三味線の方が加わりさらにすばらしい音楽になってすごかったです。ジャズアンビシャスの公演にも行ってみたいくなりました。映像化してください！ぜひ！

●座席について指定席にしてほしい。老人にとって1時も立って待つのはつらいので

美術館事業について

**【札幌美術展 旅は目的地につくまでがおもしろい。展】**

アンケート回答件数 797 件

男性 296 件、女性 484 件、不明 17 件

通常の展覧会とは異なり、10～30 代の若年層の来場が多かった。

○旅というテーマについてそれぞれの作家の個性が感じられてよかった。

○なぞときや車輜に入っただけの鑑賞など工夫がいっぱい楽しかった。

●謎解きのある展示で、机の上で筆記をしていないのに注意されたのが不快でした。ルールを守って観ようとしているのに、ルールを提示されずに注意されたくありません。何か一言その旨をわかりやすく提示した方がいいかと思いません。

●謎解きに夢中になる鑑賞者が多く、作品の保全の観点からいうと難しい状況だった。そのため、監視員も神経質になってしまっていた。監視員とのコミュニケーションを増やし、鑑賞者に対して注意等を行う基準を明確にした。

### 【月光ノ絵師 月岡芳年展】

アンケート回答件数 476 件

男性 164 件、女性 306 件、不明 6 件

40～60 代女性が圧倒的に多く、女性が全体で 64% を占めた。

○旅行で本州の美術館などたまに行きますが、芸術の森の説明パネルの親しみやすさや分かりやすさは一番だと思っています。

○残酷絵のブースに注意書きと仕切りがあるのは良かった。大人でも苦手な人はいるので、良い配慮だと思う。

●正面摺（技法）がよく分からなかった。

●とても良い展示なのに、あまり宣伝されていなくて勿体ない。

### 【現れよ。森羅の生命— 木彫家 藤戸竹喜の世界】

アンケート回答件数 1,500 件

男性 585 件、女性 882 件、不明 33 件

来場者の 60%以上が女性、うち 50 代・60 代の女性が半数以上を占める展覧会となった。情報源は「知人から聞いて」と「テレビ」（ついで「ラジオ」）がほぼ同数という結果になった。

○藤戸さんの作品の素晴らしさに加え、アイヌ文化や世界観も理解できる構成となっており、とても良い展覧会でした。

○基本的にはほぼ 360 度から作品を見られる並べ方。写真を撮りやすいスポットの当て方等、とても見やすかった。また、海外のように撮影 OKなのはびっくり。展覧会の記念になるので、すごく良いと思う。

●カメラのシャッター音が気になる。作品に集中できない。

●このような内容の展覧会は地方だけで終わらすべきではない。東京などの大都市での開催を強く望む。

### 【新海誠展 「ほしのこえ」から「君の名は。」まで】

アンケート回答件数 1,144 件

男性 571 件、女性 568 件、不明 5 件

●照明の角度を変え、見やすくなるよう工夫を施した。それでも分かりにくい作品については、会期中に表示を撤去した。

●会期中、追加で地下歩行空間の巨大壁面に広告掲載、美術館やギャラリーなどにチラシの追加発送をした。

●防犯上、シャッター音を無音設定にするよう声かけはできないため、展示室入口に展示室内が撮影可となっている旨掲示物を設け、理解を求めた。

●札幌会場終了後は大阪の国立民族学博物館に巡回した。また、展覧会の成果を広く周知するため、全国の図書館への図録配布を予定している。

新海誠作品の中心的なファン層である 20 代男性が全体の約 60%近くを占め、中学・高校・大学生の来館も多数見受けられた。また、初めて当館を訪れた来館者も約 40%となり、新たな来場者を獲得することができた。

○セリフの演出や映像などが効果的に使われておりグッときた。新海誠の人柄や作品に対する思いがよく伝わる展示だと思った。

○普段、見ることのできない絵コンテや制作の裏話の数々を見ることができ、貴重な体験ができた。

●5 分以上の上映を立って見るのは疲れた。椅子に座りたかった。／人がなかなか流れず、前に進めない場所があった。

●もっと手描きのスケッチなどが見たかった。／実物が少なかった。

### 【芸森の名品Ⅱ 学芸員がつなぐ名品のともしび展】

アンケート回答件数 160 件

男性 70 件、女性 88 件、不明 2 件

60 代の来場者が圧倒的多数。情報源は「知人から」と「芸術の森に来て」がほぼ同率一位。

○学芸員の仕事について知る機会が少ないので、有意義な仕事の内容を知ることができる展示は面白いと思った。また、収集の基準や目的を明示していない美術館も多い印象なので、それがわかって楽しみ方が増えた。

○壁が移動するのを初めて知った。企画展ごとに配置が異なることに気づいていなかった。作品リストとともに、配置の見取り図があったら注目してみたい。また、(学芸員が) 作品の状態を細かくチェックしていることに驚いた。

●大変良い展覧会だが、開催時期、開催期間に問題がある。／ぜひ常設展を行ってください。もっと回数多く。／こういう収蔵品の展覧会をもっと増やして欲しい。

●計画の段階でも十分な通路幅と休憩スペースの確保に努めたが、混雑時に人の滞留する場所を完全には予測しきれなかった。十分なボリュームと質の高い展示を維持する一方、余裕のある空間設計を心がけたい。

●デジタルアニメーション制作の先駆者である新海誠は、絵コンテやラフスケッチなど制作の工程のほぼ全てをCGで行っている。かつて、「実物の資料に出会えること」が展覧会の醍醐味の一つであったが、デジタル時代の芸術作品の展覧会がどのように鑑賞者の満足感を獲得していくのかは今後の課題といえる。

●会期が非常に短く、3 月という時期も来場者が来にくい時期だった。美術館の収蔵品を観覧したいという来場者は多いので、今後は収蔵品を展示する機会も増やしたい。

<p><b>【岩合光昭写真展 THE CATS ねこ科 ねこは野生動物だ。】</b>  アンケート回答件数 1,050 件  男性 273 件、女性 764 件、不明 13 件  女性の来場が 70%を越え、30～50 代の来場が非常に多かった。情報源は新聞が圧倒的に多く、また「知人から」も多かったことから、友人と連れ立っての来場が多かったものと思われる。</p> <p>○普段、デパート内での写真展しか観たことはありませんでしたが、自然の中、特に森の中での写真はそこに動物が居るように感じられ、他の展覧会では味わえない素晴らしい展示の方法だと思います。</p> <p>○屋外展示なのでいつもより楽な気持ちで見られました。子ども連れにはとてもありがたかったです。静かに静かに言わなくて済んだ。猫の森の写真配置が面白く、子どもはかくれんぼしながら楽しんでいました。</p> <p>○美術館にはよく訪れていたけれど、野外美術館がこんなに素敵なおところだったことは初めて知りました。森の中の木々に囲まれた大きな写真にとっても魅了されました。とても良かったです。</p> <p><b>【北と手仕事 ライフストーリーズ】</b>  アンケート回答件数 14 件  男性 5 件、女性 9 件</p> <p>○各作家の作品の配置や説明のパネルが良かったです。</p> <p>○光の具合がとても良かったです。写真を撮るには暗いですが、目で作品をみるにはちょうどいい。</p> <p>●もう少し作品が多く観られたらと思いました。市外で今回とても楽しみに出札しました。もっとたっぷりこの世界に（工芸品）に浸りたかったという欲でした。</p> <p>●作家さんごとのエリアは少しわかりづらかったです。</p>	<p>○今後も野外美術館の活性化事業に取り組んでいく。</p> <p>●多くの作品が売れていき、会期終了間際には作品が少ない状態だった。作品が何もないという状況を避けるため、各作品最後のひとつは会期後引き渡しとした。</p> <p>●作家ごとに十分なスペースをとり、什器を使い分けるなど、工夫していた。</p>
<p>工芸版画講習会事業について</p>	
<p>アンケート回答件数 1022 件</p> <p>●毎年同じだと思うが、受付の係の方がなれていない。それぞれの教室で受付窓口が違うので並ぶレーンが異なる事などはもっとスムーズに案</p>	

<p>内できると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定員いっぱいを受講できないこともあるので、特に夏休み期間は色々増やしてもらえるとうれしいです。</li> <li>●予約がいつもこみあっていて電話がかかりにくいのでネット予約ができると有難いです。</li> </ul> <p>○設備がととのってとてもスムーズにできるのが良いですね。これからも、いろいろと物を作る機会をお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●複数分野の講習会を開催する日は受付が混雑しお客様の案内が行き届かない場合がある。受付のアナウンスを徹底するとともに、各制作室で受付を行うなど、人混みを分散させることでお客様にストレスを感じさせないよう工夫を行った。</li> <li>●小中学校の夏休み・冬休み期間は例年受講希望者が多くなるため、年齢の低い方から参加できる講習会を増やしているが、より多くの方に参加いただけるよう、再度検討をしたい。</li> <li>●予約を入れやすくなるよう、時代に合わせた予約方法を取り入れることを検討したい。</li> </ul>
<p>子ども育成事業について</p>	
<p>アンケート回答件数 20 件</p> <p>○母が、アフリカの太鼓に興味があり、茂呂さんの演奏をラジオで聴いたこともあり、近所の芸術の森でこのようなイベントがあることを知り、子どもに参加させてみました。</p> <p>子どもはピアノを習っており、今回、新しいジャンルの音楽に触れることができ、大きな刺激になったと思います。</p> <p>野外演奏会という貴重な体験もさせて頂き、大変良かったと思いました。当初は学校の夏の自由研究に縄文太鼓を持っていく予定でしたが、とても太鼓が大切な物になったようで、自由研究として提出するか、今、迷っているようです。</p> <p>指導者とスタッフの方も、大変親切で子どもも安心していました。ありがとうございました。</p>	



平成29年度アンケート回収結果(札幌彫刻美術館)

回収数:545件

利用者からのご意見・要望

展覧会について	対 応
<p><b>【コレクション展 あなたが選ぶ、この1点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作者の気持ちが感ぜられる作品が多かった。</li> <li>○ 見に来た人(子供)の感想が貼ってあり、自分と違う感想があって楽しく観ることができた。</li> </ul> <p><b>【アフリカの仮面と彫像】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 展示の仕方にアフリカ文化への敬意が感じられた。</li> <li>○ アフリカの仮面や木彫は初めて見たが、部族によって特徴がありおもしろかった。</li> <li>○ アフリカの民の自然に対する崇拝と尊厳の念を強く感じた。</li> <li>○ DVDを拝見し、アフリカの祭りごとの一端を知ることができとても楽しかった。</li> <li>○ ギャラリートークを聞くとより理解できるのでとても良かった。</li> <li>● 照明の当て方をかえると見やすくなると思った。</li> <li>● 図録かポストカードを購入できるとよかった。</li> </ul> <p><b>【わくわくアートスクール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分たちが作った作品がストーリーになっていて、1つ1つの言葉が感動した。</li> <li>○ 子どもたちの作品が幻想的にアートとしてすてきな光を放っていた。</li> <li>○ 一体感があって良かった。</li> </ul> <p><b>【New Eyes 2017 家族の肖像】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 素人でも理解しやすい解説のおかげで、作品を大いに楽しめた。</li> <li>○ 「家族」ということをあらためて考えるよい機会にもなった。</li> <li>● テーマはわかるが、まとまりに欠ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の構造上、作品の展示数や大型作品の展示は制約を受けることがあるが、照明や展示の仕方に趣向を凝らし、解説文の充実や、ギャラリートークの実施など、心地よい鑑賞環境とサービスの向上に努めたい。</li> </ul>

### 【記憶素子】

- 丸山先生の言葉が記憶に響いた。
- 丸山隆さんと教え子さんの作品が同じ空間に共存、共鳴している展示がステキ。
- 同じ素材でも作り手が異なると空気感もちがってみえて興味深かった。
- 初めて出会った作品で、体力・気力を感じた。
- 心に優しい風に吹くものがとてもよかった。
- (第1期、2期で展示作品が入れ替わっており) 第1期も訪ねるべきだった。
- PRして市民に周知してください。
- (第1期、2期の) 共通券ではなく別々にしてほしかった。

### 【ふれる彫刻・手でみるアート】

- 作品に触れて、ぬくもりや精巧なつくりを感じられた。
- 実際に触れる機会は初めてだったが、ボリューム感、タッチがわかった。
- 子どもにとっては目で見て手でふれてとてもよい刺激だった。
- 子どもがさわるおもちゃがあつて大変楽しく遊べた。

### 【記念館の展示】

- ほぼジャンル別に分けられていてわかりやすかった。
- 巨大な像は見応えがあつた。
- ぬくもりを感じさせる作品がたくさんあつてよかった。
- 彫刻の制作過程に接することができるとてもよい展示だと思う。
- ゆとりある展示で1つ1つ間をとって見られた。

- ・ 展覧会や美術館の広報は、チラシの配布先を検討するほか、ホームページやフェイスブック、ツイッターの活用など、引き続きPRに努めていく。

施設・サービスについて	対 応
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 明るい声で親切に対応してくれた。</li> <li>○ とてもきれいで日当たりがよく、ゆっくりできた。</li> <li>○ 丁寧な対応で好感が持てた。</li> <li>○ 学芸員の解説が大変わかりやすく興味がわいた。</li> <li>○ 笑顔での接客がよい。説明も丁寧で親切。</li> <li>○ 館内にはゴミひとつ落ちておらず、清潔感があった。</li> <li>○ とてもきれいな建物で、庭もよかった。</li> <li>● スリッパの裏面がつるつるしており、階段の下りが危ない。</li> <li>● 記念館の階段がきつい。</li> <li>● 英語表記もあるとよい。</li> <li>● バス停からの道順がわかりにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スリッパの素材は滑りにくい物を検討したい。</li> <li>・解説文や館内表示は、読みやすくわかりやすい表記を検討したい。</li> <li>・英語表記については現在取組中。</li> </ul>